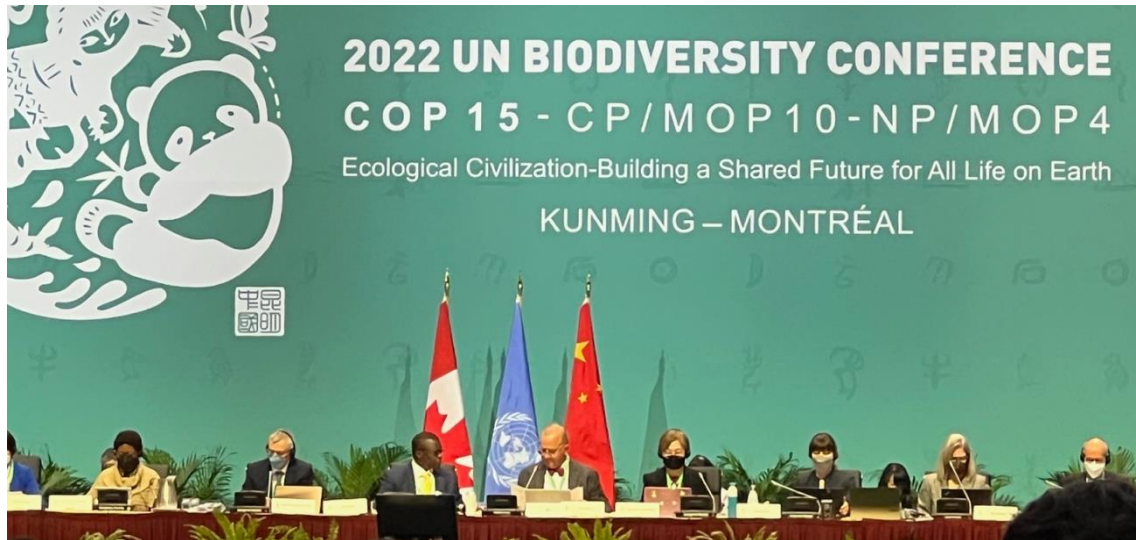


OEWG5 報告書

2022.12.10



会議名	「ポスト 2020 生物多様性枠組」に関する第 5 回公開作業部会 (OEWG5)
日時	2022 年 12 月 3 日～5 日
公式 HP	https://www.cbd.int/conferences/post2020# https://www.cbd.int/conferences/post2020/wg2020-05/documents
アウトプット	DSI に関する勧告案 CBD/WG2020/REC/5/2 5 December 2022 https://www.cbd.int/doc/recommendations/wg2020-05/wg2020-05-rec-02-en.pdf
概要	<p>国連生物多様性会議では、第 15 回締約国会議 (COP15)、バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書第 10 回締約国会議 (MOP10)、遺伝資源へのアクセスとその利用から生じる利益の公正かつ公平な配分に関する名古屋議定書第 4 回締約国会議 (MOP4) などの条約および議定書の管理機関の会議も同時に開催される。これらに向けた第 5 回公開作業部会 (OEWG5) が、開催された。</p> <p>12 月 3 日の全体会議 (プレナリーセッション) では、DSI に関しては、DSI に関する非公式諮問グループ (IAG) 報告し、IAG は事前に合意した基準の下で政策</p>

オプションに取り組み、DSIに関するいかなる解決策の中心も技術・科学協力の強化 およびキャパシティ・ビルディングであると認識したと報告。

アフリカン・グループは、DSIに関する解決策は GBF に統合される必要があると主張。GRULAC は発言し、多国間の利益共有、イノベーションの推進、国際協力など、DSI に関する解決策に不可欠な要素を列挙した。英国は、科学的な進展の手法の下で、多国間解決策を探る用意があると強調した。コロンビアは、DSI へのアクセスと利益配分のメカニズムを確立するため、明確で実施可能なロードマップを求めた。ノルウェーと EU は、DSI の理解を深めるきっかけとなった最近の非公式イベント(ABS-exchange)について報告した。

コンゴ民主共和国は、GBF には公共データベースへのオープンかつ自由なアクセスに基づく DSI の解決策を含めるべきであり、先住民および地域社会 (IPLCs)を共有利益の直接の受益者とする必要があると強調した。グアテマラは、遺伝資源の原産地を追跡するメカニズムを含めるよう求めた。EU は、IAG で議論された政策オプションは一般的すぎると指摘し、多国間の利益共有オプションに焦点を当てるよう求め、利益は主として IPLCs に行き、生物多様性保護のために使われるべきであると付け加えた。トルコ は、国際的なシステムを通じて、利益を原産国に流す必要があると強調した。日本は、IAG で DSI が検討されていることに懸念を表明し、合理的で科学に基づくプロセスで様々なオプションを検討し、産業界および全てのステークホルダーの意見を反映させるよう促した。

同日、二回のコンタクトグループ会議とフレンドオブチェア会議(FOC)がおこなわれた。二回目のコンタクトグループ非公式文書(ノンペーパー)が公開された。ノンペーパーには、開発項目として

- (a) 技術へのアクセス、技術移転、能力開発のためのプラットフォーム。
- (b) 基金を含む多国間メカニズム
- (c) ハイブリッドアプローチの一部としての二国間メカニズムの要素。

が記載。

12月4日は FOC のみ開催、12月5日は、FOC、コンタクトグループ、全体会議後、COP15.2 にむけての勧告案が採択された。

<https://www.cbd.int/.../wg2020-05/wg2020-05-rec-02-en.docx>

勧告案はすべて、未確定を示すかっこがついている。勧告案は、前文、条文、追加資料からなる。条文では解決案の条件、先住民・地域社会に利益をもたらすために利用されるべきであること、

	<p>地理的起源に関する情報及びその他の関連するメタデータを提供し、遺伝資源に関するデジタル配列情報をより多く寄託するよう奨励、能力構築と開発、技術移転および技術・科学協力の要請などであった。</p> <p>さらに、第 11 条項として(a)政策オプションを更に分析、(b) 潜在的な解決策を試験的な実施、(c)解決策の確立などが含まれた。ブラジル案などが追加資料として添付された。</p> <p>DSI の利益配分のメカニズムとして多国間システムを推す欧州連合、国内法による二カ国間の利益配分メカニズムとその拡張を推すブラジル勢、ハイブリッド案を推すコロンビア。DSI を含む遺伝資源の売上高の1%を徴収する案を推すアフリカ勢、DSI はそもそも条約の範囲外であると主張する日本・韓国・スイスの構図で、決着の様子が全く見えない模様。</p>
<p>勧告案 本文の 条項部 分のみ</p>	<p>DSI に関する勧告案 CBD/WG2020/REC/5/2 5 December 2022</p> <p>1. 遺伝資源に関するデジタル配列情報についての公正かつ衡平な利益配分のための解決策は、特に以下の通りであることに合意する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 効率的で、実現可能で、実用的であること。 (b) 金銭的、非金銭的なものを含め、コストよりも多くの利益を生み出すこと。 (c) 効果的であること。 (d) 遺伝資源に関するデジタル配列情報の提供者と利用者に確実性と法的明確性を提供する。 (e) 研究・イノベーションを妨げない。 (f) データへのオープンアクセスに整合していること。 (g) 国際的な法的義務と相容れないものでないこと。 (h) 他のアクセス権および利益配分手段を相互に支援すること。 (i) 遺伝資源に関連する伝統的知識に関するものを含め、先住民および地域社会の権利に配慮すること。 <p>2. 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用から生じる金銭的及び非金銭的利益は、特に、生物多様性の保全と持続可能な利用を支援し、とりわけ先住民及び地域社会に利益をもたらすために利用されるべきであることを認識すること。</p> <p>3. 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用から公正かつ衡平な利益を共有するために本決定で示されたアプローチは、伝統的知識及び先住民並びに地域社会の権利に関連するものを含め、該当する場合、条約及び名古屋議定書に基づく既存の権利及び義務に影響を与えず、条約及び名古屋議定書に基づく各国のアクセス及び利益共有措置を害するものではないことに合意する。</p>

4. また、遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用から生じる利益は、公正かつ衡平に配分されることに合意する。
5. 遺伝資源のデジタル配列情報の利用における特徴的な慣行は、利益配分のための特徴的な解決策を必要とすることを考慮する。
6. 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用による利益配分のための純粋な二国間アプローチは、第 1 項で特定された基準を満たす可能性が低く、多国間アプローチがこれらの基準を満たす可能性が最も高いことを認識すること。
7. 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用から生じる利益の共有のための解決策を開発することに合意する。
8. デジタル配列情報」の概念と範囲に関する様々な理解を認め、プレースホルダーとしてこの用語を継続的に使用することに合意する。
9. 遺伝資源に関するデジタル配列情報をデータベースに寄託する者に対し、地理的起源に関する情報及びその他の関連するメタデータを提供し、遺伝資源に関するデジタル配列情報をより多く寄託するよう奨励する。
10. 2020 年以降の生物多様性世界枠組みのセクション H、能力構築と開発のための長期戦略的枠組み 3 および 2020 年以降の生物多様性世界枠組みを支援する技術・科学協力の強化 4 を歓迎し、遺伝資源に関するデジタル配列情報のアクセス、利用、生成および分析を支援するために、特定の、的を得た能力構築と開発、技術移転および技術・科学協力に要請します。
11. 本決定書の附属書に記載された政策オプションに留意し、遺伝資源に関するデジタル配列情報についての事務局長メモ (CBD/WG2020/5/3) の情報を考慮し、決定する。
 - (a) 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用による利益分配に関する解決策を特定するために、上記パラグラフ 1 及び 2 で特定された基準に照らして、[いくつかの]政策オプションを更に分析する、特に利害関係者と権利保有者が関与する、公正、透明、参加型、かつ期限付きのプロセスを確立すること。
 - (b) 潜在的な解決策を試験的に実施し、上記 1 及び 2 の基準に従って評価すること、及び／又は
 - (c) 遺伝資源に関するデジタル配列情報の利用による利益配分のための解決策を、その解決策が定期的に見直され、適応され、改善されることを理解した上で、以下の特徴を持つように確立すること。[解決策はグローバルであること、解決策は多国間であること、...]。
12. [COP16 へのプロセスの記述のためのプレースホルダー]。

参考になる HP	<p>CBD/WG2020/5/3 DIGITAL SEQUENCE INFORMATION ON GENETIC RESOURCES Note by the Executive Secretary https://www.cbd.int/doc/c/c064/37f6/d5024789093ef19bf5f84519/wg2020-05-03-en.pdf ハーグでの DSI exchange https://www.cbd.int/doc/c/3c50/de61/763339af45aa869e3f182309/wg2020-05-report-haguedsi-en.pdf</p>